

新興感染症等発生時 アクションカード (呼吸器感染症編)

- 1 医師が新興感染症等疑いと判断したら
- 2 誘導・隔離
- 3 診察・検査
- 4 移送（転院する場合）
- 5 移送後の院内の消毒・リスクコミュニケーション

作成：令和7年5月23日

埼玉県狭山保健所管内感染症対策ICN連携会議

西埼玉中央病院

防衛医科大学校病院

埼玉石心会病院

埼玉医科大学国際医療センター

所沢美原総合病院

<保健所連絡先>

平日
8:30～17:15

埼玉県狭山保健所

TEL 04-2954-6212

上記以外

保健緊急連絡センター

TEL 048-660-0222

1

医師が新興感染症等疑いと判断したら

◆ 新興感染症等疑いと判断した時点から、患者と接触する職員の数是最小限にすることに留意

1	■ 患者にサージカルマスクを適切に装着させる	誰が実施するかを記載
2	■ 院内で隔離する場所の確保 予定：	
3	■ 隔離する場所までの誘導経路の確保 - エレベーターを使用する場合は専用化する - 施設内で動線が分けられない場合、時間を分ける、屋外を通るなども可能	
4	■ 担当職員の配置（各所への連絡・患者誘導等） 予定：	
5	■ 个人防护具を着用する場所の確保 予定：	
備考		

■ 必要人員：

2 誘導・隔離

1	■ 誘導に関する院内連絡 ・ 緊急連絡網を活用	誰が実施するかを記載
2	■ 誘導経路を確保	
3	■ 先導する職員の個人防護具着用	
4	■ 職員の先導で隔離場所まで患者を移動させる	

■ 必要人員：

3 診察・検査

1	■ 問診・検査物品準備 ・ 検査方法は必要に応じて保健所に確認	誰が実施するかを記載						
2	■ 个人防护具の着用 ・ 个人防护具は、現時点の患者情報、感染症流行状況に応じて選択する 【个人防护具の例】 ・ N95 ・ サージカルマスク ・ フェイスシールド ・ ゴーグル ・ 手袋 ・ ガウン ・ 防護服（つなぎスーツ）							
3	■ 問診・検査実施 【問診項目の例】を参照 ■ 院内の接触状況も併せて確認する ・ 来院時間、動線、待合室で座った場所 等							
5	■ 保健所と問診・検査結果の情報共有・必要時入院調整依頼 <table><tr><td>平日 8:30～17:15</td><td>埼玉県狭山保健所 (感染症担当あて)</td><td>TEL 04-2954-6212</td></tr><tr><td>上記以外</td><td>保健緊急連絡センター</td><td>TEL 048-660-0222</td></tr></table>	平日 8:30～17:15	埼玉県狭山保健所 (感染症担当あて)	TEL 04-2954-6212	上記以外	保健緊急連絡センター	TEL 048-660-0222	
平日 8:30～17:15	埼玉県狭山保健所 (感染症担当あて)	TEL 04-2954-6212						
上記以外	保健緊急連絡センター	TEL 048-660-0222						

■ 必要人員：

3 （参考）問診項目の例

問診日時	年 月 日 ()		時 分	
フリガナ			生年月日	年 月 日
氏名			年齢	性別 ☐ 男 ☐ 女
住所				
国籍	☐ 日本 ☐ その他 :		電話番号	
職業			携帯電話	☐ 本人 ☐ その他 :
ADL	☐ 自立 ☐ その他 :		緊急連絡先	関係性 :
基礎疾患・既往歴			家族状況	☐ 単身 同居家族 : 人 家族構成 :
かかりつけ医				
考えられる感染経路	海外渡航 : ☐ 有 ☐ 無			☐ その他接触等 :
	渡航先 :			
	期間 : / ~ /			
発症	月 日		経過 (日付)	(症状・行動歴・受診歴等)
症状	☐ 発熱 ☐ 咳嗽 ☐ 鼻汁 ☐ 咽頭痛 ☐ 全身倦怠感 ☐ その他	☐ 発疹 ☐ 関節痛 ☐ 筋肉痛 ☐ 嘔吐 ☐ 下痢		
院内の接触状況	【来院時間】 待合室で座った位置 : 動線等 :			
備考				

4 移送（転院する場合）

1	■ 保健所から移送先の連絡を受ける	誰が実施するかを記載
2	■ 移送先の受入時間の確認 ■ 出発時間・搬送車駐車位置等を保健所と共有	
3	■ 隔離場所から搬送車までの動線を確保 ・ 人通りが少ない経路が良い ・ 必要に応じエレベーターを専用化 ・ 業者等の動線も考慮	
4	■ 患者を搬送車まで誘導する	
備考		

■ 必要人員：

5

移送後の院内の消毒・
リスクコミュニケーション

1	■ 患者が来院してからの動線、およその滞在時間を確認 ・ 検査を実施している場合は時間の特定に役立つ ・ まず院内で確認、必要に応じて保健所と情報共有	誰が実施するかを記載
2	■ 患者が接触した可能性のある場所を消毒 ・ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液（0.02%）を不織布に浸潤させて清拭で消毒 ・ UV照射機が用意できる場合は使用する	
3	■ 院内の注意喚起 例）〇月〇日 〇時～〇時 〇〇科の待合室で〇〇疑い患者がいたことが分かりました。	
4	■ 必要に応じて接触者（患者・スタッフ）のリストアップ ・ この時点で感染経路が明確ではない場合は、空気感染の想定でリストアップする。厚生労働省等で定義されている場合はそれに従う。 例）〇時～〇時診察室A付近で滞在した患者・スタッフ	
備考	【次亜塩素酸ナトリウム水溶液（0.02%）希釈方法】 原液の濃度5%の場合： 1リットルの水に対し<u>原液の量4ml</u> ※薄めた消毒液は時間が経つと分解するため、使用の都度原液を希釈し必要な量だけ作り、作り置きをしない	

■ 必要人員：

0 平時の備え

◆ 感染症が疑われるものが来院した場合の対応について検討し、職員を対象に定期的に訓練

誰が実施するかを記載

1	隔離する場所の確認 予定：																																									
2	隔離する場所までの動線及び搬出口までの動線の確認 フロアマップ等で示す 個人防護具 着用場所の確認 予定：																																									
3	役割分担を確認（各所への連絡・患者誘導） <table><tr><th>役割</th><th>部署</th><th>担当者</th><th>電話番号</th></tr><tr><td>院内連絡</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>患者誘導①</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>患者誘導②</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	役割	部署	担当者	電話番号	院内連絡				患者誘導①				患者誘導②																												
	役割	部署	担当者	電話番号																																						
	院内連絡																																									
	患者誘導①																																									
	患者誘導②																																									
4	感染症流行状況及び最新情報を院内職員に周知する																																									
5	感染症流行状況及び最新情報を患者・家族等に周知 患者・家族等が感染症の症状を自覚し、早めに申し出てもらうことが必要																																									

0 平時の備え

- 個人防護具、消毒液等の確保
- 使用状況の把握

管理担当者：

確認頻度：

保管場所：

物品	必要数	備考
N95マスク		
サージカルマスク		
手袋（S、M、L各種）		
フェイスシールド		
ゴーグル		
ガウン		
防護服		

連絡系統

1

■ 院内連絡先
組織内連絡

連絡する人	連絡先部署	担当者	電話番号

診療に関する連絡

連絡する人	連絡先部署	担当者	電話番号

搬送に関する連絡

連絡する人	連絡先部署	担当者	電話番号

2

■ 新興感染症等疑い例発生の保健所への報告について

保健所への連絡
担当者：

保健所からの
連絡を受ける者：

平日
8:30～17:15

狭山保健所
(感染症担当あて)

TEL 04-2954-6212

上記以外

保健緊急連絡センター

TEL 048-660-0222